

# 核医学診療と放射性薬剤を用いた 神経内分泌腫瘍治療



日本アイソトープ協会は、放射線を利用した様々な病気の診断や根治・緩和治療に関する情報を広くお伝えするために、毎年一般市民の方々へ向けた医療講座を開催しています。是非ご参加ください!

## 演題1

### 「核医学を用いた画像診断と放射線治療」

講師: 中本 裕士先生

京都大学医学研究科 放射線医学講座  
画像診断学・核医学 教授

## 演題2

### 「実臨床におけるNET (神経内分泌腫瘍) に対する PRRT (ペプチド受容体放射性核種療法)」

講師: 小林 規俊先生

横浜市立大学大学院医学研究科  
がん総合医科学 准教授

(講演時間 各演題 約30分)

**聴講期間** 2022年2月3日(木)15時 ~ 2月24日(木)15時

**参加費** 無料

**申込** 当協会ホームページより



<https://www.jrias.or.jp/>

**申込期限** ~2022年2月17日(木)15時まで(現在申込受付中!)

# 講演概要

## 演題1 「核医学を用いた画像診断と放射線治療」

講師: 中本 裕士先生

核医学では、放射性同位元素を含むクスリをがん病巣に集め、そこから放出されるガンマ線で画像診断が可能となり、ベータ線やアルファ線で治療効果が期待できます。副作用は少なく、世界では盛んに行われています。

## 演題2 「実臨床におけるNET（神経内分泌腫瘍）に対するPRRT（ペプチド受容体放射性核種療法）」

講師: 小林 規俊先生

神経内分泌腫瘍（NET）は、あらゆる臓器から発生する稀な悪性腫瘍です。以前は外科的切除術しか治療がありませんでしたが、最近になり副作用が少なく高い治療効果を発揮するペプチド受容体放射性核種療法（PRRT）が登場しました。

## 過去の講演内容

過去11回分の講演概要をアーカイブページにて閲覧することができます。

 **市民向け講演会アーカイブス**（以下、抜粋）

**市民向け講演会アーカイブス**

現在の医療では放射線を利用して、様々な病気の診断（核医学検査）や根治・緩和治療（放射線治療）が行われています。

日本アイソトープ協会ではこれに関する情報をわかりやすく皆様にお伝えする活動を行っておりその一環として、毎年講演会を開催しています。

過去開催分の概要をご紹介しておりますので、ぜひご覧ください。

※本ページの内容は、各講演会開催地の掲載です。

**令和2年度**

「がんと脳腫瘍」【Web開催】

演題1では、軽微性脳腫瘍や悪性脳腫瘍の自分でできる早期発見方法や診断・治療について、演題2では、アルファ線やベータ線を放出するアイソトープをがん細胞に送達する治療法等についてお話ししました。

[詳細を見る](#)

**令和元年度**

「がん治療は、あなたの選択のために～プレジジョン医療と核医学診療がつくる未来～」

第一部では、「AIホスピタルプロジェクト」の紹介と共に人工知能（AI）を利用した医療について、第二部では、あらゆるがんに対して開発が進んでいる放射性医薬品によるがん治療（核医学治療）について、実例をまじえてお話ししました。

[詳細を見る](#)

**平成30年度**

「乳がん講演会～知ってほしい 乳がんの【治療】と【緩和ケア】のお話～」

第一部では、乳がんの標準治療を中心に、体に優しい最新の放射線治療について、第二部では、がんに伴う心身の苦痛を和らげ、がん治療に安定して取り組むために患者様やそのご家族も含めて援助することを目的とした、緩和ケアについてお話ししました。

[詳細を見る](#)

令和2年度

「がんと脳腫瘍」

令和元年度

「がん治療法、あなたの選択のために～プレジジョン医療と核医学診療がつくる未来～」

検索または下記QRコードよりアクセスしてください。

市民向け講演会アーカイブス

